

水素社会構築技術開発事業／地域水素利活用技術開発／地域モデル構築技術開発
マルチパーパスFCEVの給電技術を活用した新たな水素利活用モデルの構築

団体名：トヨタ自動車株式会社、福島県双葉郡浪江町、株式会社エナジア、郡山観光交通株式会社
発表日：2026年7月22日

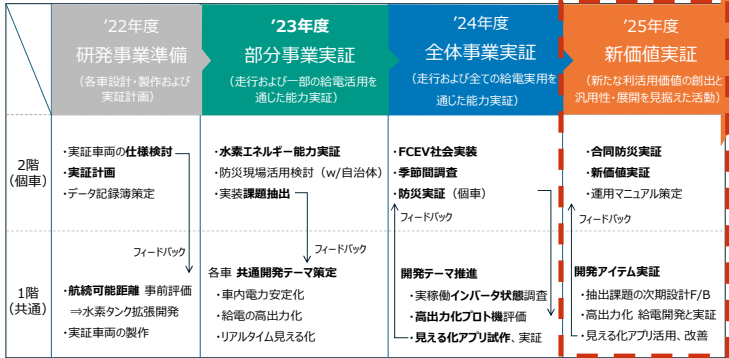
1. 助成事業目的と研究開発体制

目的：FCEVの「走る」機能に加え、水素の持つ「電力」に着目
マルチパーパスFCEVを通じた水素利活用を提案し、水素普及を促進



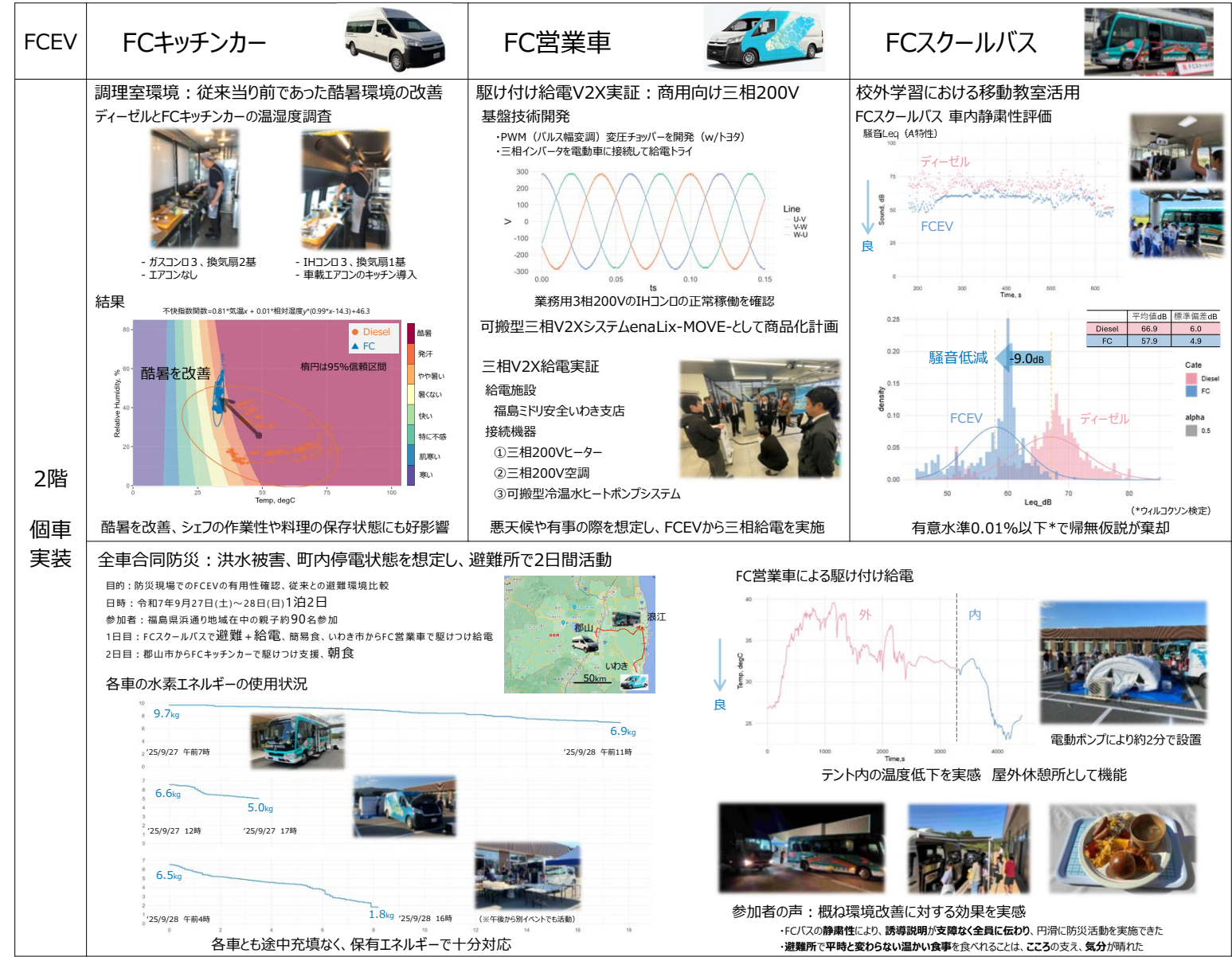
2. 推進計画と進捗

’22年度より開始、エネルギー能力実証を経て24年度までに社会実装へ



’25年度は、各事業や防災における、水素ならではの新たな価値を実証

3. ’25年度実証結果および考察



4. 今後の計画、展望

・25年度で助成事業を完了。得られた知見をもとに28年度まで事業実装を継続：研修型水素ツーリズム、V2X給電による防災網構築、教育現場の効率化等
・各社の事業の中でさらなる価値を創出、さらに県外の方々とも現地での交流を通して、水素社会のアイデアを共創